

# さなめ寿劇場

其之八

令和7年

1/12<sup>日</sup>

開場

13:30~

開演

14:00~15:30

さなめ寿劇場は、かつて米子市淀江町内にあった芝居小屋「戎座」や隠岐の島から譲り受けた「寿座（のちに寿劇場）」を懐かしみながら様々な芸能を楽しんでいただく企画です。笑う門には福きたる！新年の初笑いは「さなめ寿劇場」にお出かけください！



会場

米子市淀江文化センター  
大ホール（さなめホール）

入場料

- 大人 1,000 円
- 小学生～高校生 500 円
- ※ 未就学児無料

チケット発売  
12月1日<sup>日</sup>

プレイガイド

米子市淀江文化センター、米子市公会堂、  
米子市文化ホール、米子市児童文化センター

主催・お問い合わせ先

さなめ寿劇場実行委員会  
一般財団法人 米子市文化財団 [ 米子市淀江文化センター ]  
☎ 0859-39-4050

共催 米子市

< 開館時間 > 9:00 ~ 22:00  
< 休館日 > 毎週水曜日 ※祝日の場合は翌日、年末年始 12/29 ~ 1/3



# さなめ壽劇場

## 其之八

令和7年1月12日(日)  
米子市淀江文化センター 大ホール

## プログラム・出演者紹介

※プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



### い 琴演奏 大門社中

昭和62年に発足。関西音楽指針会米子箏葉会(そうようかい)に所属し、春には米子市で開催される箏葉会主催の演奏会に参加しています。各地の国民文化祭に出演し、平成14年には地元鳥取県での国民文化祭に参加しました。また、モンゴル、韓国、中国など海外でも演奏しています。お正月には毎年ひきぞめ会を行っているほか、発表会、地域の行事、高齢者施設、子育て施設での演奏や、小・中学校では子どもたちに実際に琴に触れてもらう活動など、琴の普及に努めています。現在、2歳半から91歳までの方が稽古をしています。



### ろ 漫才 よしこじゅんじ

2014年3月9日結成、今年10周年。  
山陰では珍しい男女の漫才コンビ。  
知的ですどいツッコミ役よしこと、ピントのはずれたボケ役じゅんじの織りなす昭和感ただよ夫婦風漫才を数々の舞台で披露。



### は 落語 桂文吾門下生 錦亭 だい吾

小学生の頃に米子市児童文化センター落語クラブに参加し、クラブ生として講師の桂文吾さんの指導を受け、落語の世界に入る。  
クラブ生当時は「わらべ家だい吾」の名で米子市児童文化センタークラブ発表会や地域の様々な催しに出演。  
その後も師匠の桂文吾さんのもとで稽古に励み、令和6年8月18日に開催された全国子ども落語大会「第3回高校生落語甲子園」に出場。「鈴ヶ森」の演目で第3位(豊岡市長賞)入賞。現在、高校3年生。



### に 落語 6代目 桂 文吾

京都市出身、米子市在住。上方落語。  
昭和27年、15才で5代目 桂文吾の弟子になり、6代目 桂小文吾を名乗る。  
大師匠にあたる4代目 桂文吾は、落語の名作「らくだ」を完成させた噺家。  
宝塚若手落語会、三越新人落語会などに出演、少年落語家として活動。  
昭和32年、20才の時に落語界を離れて宝塚新芸座の座員になり、役者として舞台、テレビ、映画に出演。その後、自分の芸道に行き詰まり劇団を退団、芸能界を引退。昭和40年、28歳の時に縁あって山陰に移住し、ある会社に勤務。63歳で退社。その後、平成13年頃より、上方落語の噺家と交流を図り、山陰の噺家として復帰する。米子市児童文化センター落語クラブ講師。  
NHK鳥取「桂小文吾の出前落語」平成14年から16年まで、18本収録。  
中海テレビ「桂小文吾の落語会」平成19年から23年まで、30本収録。  
倉吉豊田亭にて落語寄席に出演。夜見町迎接院ワンコイン落語寄席を開催。  
桂文吾の事を書いた本『噺家根間・雷門小福と桂小文吾』発売中。  
シニア劇団「笑劇座」座長。令和4年6月に、6代目 桂文吾を襲名。